

九州ネット

九州体育・保健体育ネットワーク研究会

佐賀県開催

<むつごろうラウンド>



R元.5.25(土) 佐賀市立新栄小学校



今年度もトップバッターとして佐賀で開催。今年も暑さが厳しい中、今回の「むつごろうラウンド」に県内から16名、県外から9名、計25名の先生方に参加していただきました。途中で帰路につかれる方もいらっしゃいましたが、温かい雰囲気の中、実技を交えながら有意義な時間を過ごすことができました。

1 器械運動系（小学校期）の指導の在り方について

1週間前に鹿児島で開催された体育・保健体育指導力向上研修（西部ブロック）に参加いただいた、佐賀市立新栄小学校の田中先生から「器械運動系（小学校期）の指導の在り方」について説明していただきました。改訂学習指導要領における改定のポイント（器械運動領域から言えること）やマット運動における技術指導のポイントについて、実技を交えながらの楽しい



内容でした。マット運動のポイントである「着手」「目線」「着地」に加え「回転（スピード）」「身体の力の入れ具合（どこに力をいれるといいか）」「運動の全体を捉える」ことの重要さを、「前転」「後転」「開脚前転」の実技を交えながら、グループで話し合いながら体感しました。また、「大きな前転」を1つの技ととらえるだけでなく、「開脚前転」につながる技としてとらえるという系統性も教えていただきました。補助の仕方については、すぐにでも学校で試してみたいと思います。

恥ずかしながら、翌日は筋肉痛になりましたが、心地よく汗をかきながら体を動かすことができました。

2 単元構造図を用いた授業づくり（保健）

桐蔭横浜大学の佐藤先生から、「保健の系統性を踏まえた単元構造図の検討」ということで説明していただきました後、「けがの手当（小学校）」と「応急手当の意義と実際（中学校）」の単元について、単元構造図と1時間の展開について作成しました。ともに学習内容に「技能」が盛り込まれた単元であり、どのように指導するのか、熱心な協議が行われました。作成する中で、身に付けさせるべき内容を明確にすることの重要さを改めて再認識するとともに、3観点を意識した授業づくりの在り方について学ぶことができました。



また、小中それぞれの発表を通して、学習内容の系統性を確認することができました。

3 情報交換会

大変お忙しい中、情報交換会から参加いただいた先生含め、10名の方に御参加いただきました。これからの体育・保健体育の評価の話等で盛り上がり、楽しいひとときとなりました。最後はおなじみの「フルーツパフェ」で終了！来年度も楽しみにしています。

最後になりますが、御多忙な中、御参加いただきました先生方、本当にありがとうございました。

（報告：保健体育課 西村）